

こんくりーと制水工

著者

編輯

土木學會誌

第一卷第四號

大正四年八月

工學博士 原 田 貞 介

余ハ未タ臺灣ヲ知ラサルヲ以テ茲ニ其河川工事ニ付キ討議スルハ早計ノ譏リヲ免レサレトモ近來内地ニ於テモ往々護岸制水等ニこんくりーとノ使用セラル、傾向アルヲ聞ケルヲ以テ是ノ機ニ臨ミ聊カ一般類似ノ工事ニ關シ卑見ヲ述ヘントス

急流河川工事ニ於テハ特別ノ事情存在セサル限り余ハ成ルヘク是ノ種ノ工事ヲ避ケント欲スルモノナリ何トナレハ工費多大ナル割合ニ利益尠少ナル場合多キヲ以テナリ凡ソ河水激突ノ局部ニ頑固ナル工作物ヲ設クルニ於テハ水流ハ益々激衝シ工作物ハ早晚顛覆ヲ免レス幸ニ之レニ耐ユル場合ト雖モ常ニ渦流ト戰ヒ其維持ハ容易ナラサルヘク本邦ニ於テモ古キ治水策トシテ同様ノ方法ニ依リ成功シタルモノナシトセサレトモ目的ヲ達スル迄ノ勞費ト苦心ハ察スルニ難カラズ西洋ニ於テモ實驗上其可否得失ヲ覺リ擊劍流ノ工法ヲ退ケ柔術的治水法ヲ取ルニ至レリト思考ス何ヲカ柔術的ト云フ曰ク成ルヘク水流ノ逆激ヲ招ク工作物ヲ避ケ流力ヲ利用シ輕易ナル施設ヲ以テ漸次流心ヲ他ヘ向ハシムルニアリ來因河上流ニ採用セル鐵障子並ニばばりや國の一
る河ニテ用ヒタル懸ケ粗朶工事等皆是ノ部類ニ屬スヘシ

(參照) Die Regulierung geschlebeführender Wasserläufe u.s.w. A. Dolle, Leipzig, 1896.

1476

Der Gehängebau. Dr. Ing. F. Leiner, Leipzig. 1909.)

而シテ本邦ニテ古來使用セル聖牛、猪子、合掌等何レモ其適用當ヲ得ハ極テ善良ナル作用ヲナスカ
如シ余ハ嘗テ揖斐川及九頭龍川ノ工事ニ聊カ是レヲ利用シ好結果ヲ得タリ
臺灣河川工事ニこんくりーとノ水制ヲ採用セラレタルハ特別ノ事情存在セルニ歸スト信スルト
同時ニ該工事ノ安否ニ關シ將來時々報告ノ勞ヲ惜マレサランコトヲ希望ス尙急流ノ河川工事ニ
於テハ舊式ノ道具ヲ合理的ニ利用スルノ研究ト他ノ柔術的施設ヲ一般ニ講究セラレンコトヲ切
望ス是レ蓋シ比較的木材、石材ヲ得ルニ至ル處困難ヲ感セサル我國ニテハ多クノ場合經濟的河川
維持法ト信スレハナリ(完)

工學士 三 池 貞 一 郎

拜啓仕候陳者こんくりーと制水工ニ關シ討議スヘキ様御申越ノ處本記事ニハ人夫、材料等收集ノ
難易并ニ價格ノ高低等工事攻究上ノ材料ニ乏シク隨テ充分ノ論斷ハ出來難クサレトモ勾配ノ急
ナ荒川ニ僅ニ二三ヶ所位ノ制水シカモふれきしぶるテナイ固イモノヲ築造スルハトウテアラウ
カ、マシテ此ノ爲メニハ何萬何十萬ト云フ大シタ工費ヲ要スルモノテアルトシテミレハ是レト同
額以內ノ費用テ他ノ方法ヲ求ムルコトカ出來ソニ考ヘラル普通ニ行ハレテヤル縱ニ沈床ヲ布
設シテ護岸トシ是レニ土工ヲ主トシテ流路ノ整理ヲナシタレハ効果ハ却テ多クハアルマイカ楠
梓仙溪ニ就テ言ヘハ

縦沈床

延長三百間

間口十間